

令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方

1 社会情勢の変化と基本的な考え方

近年、少子化や人生100年時代の到来、社会全体のデジタル化、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活様式の変化など、社会環境がめまぐるしく変化し、人々の行動・意識・価値観も変容する中、住民同士のつながりの希薄化が進み、個人に多様な能力が必要とされることから、**社会の変化に対応できる人間力**を高める多様な学習機会の提供や学習を通して人々のつながりを深める生涯学習環境の充実が求められている。

本市においては、持続可能なまちづくりに向けて、誰もが活躍する「地域経済循環社会」、共に支え合う「地域共生社会」、未来への責任を果たす「脱炭素社会」で構成される「スーパースマートシティ」の実現を目指しており、その実現に向けては、原動力となる「まちづくりを支える人づくり」に積極的に取り組んでいく必要がある。

このような中、平成30年度に10か年計画として策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画」は、令和4年度に中間年を迎え、令和5年度からは、後期5か年の活動を進めることになる。令和5年度についても、「人づくり」に取り組む地域教育のより一層の推進に向けて、前期5か年で導き出した課題を踏まえ、生涯学習センターの事業運営に取り組んでいく。

2 第3次宇都宮市地域教育推進計画について（平成30年度～令和9年度までの10か年計画）

令和4年度までの前期5か年の実績を評価したうえで、今後取り組むべき4点の方向性を導き出した。（以下のとおり）

【第3次宇都宮市地域教育推進計画の中間見直し】

基本理念

学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する。

取り組むべき課題

後期計画の基本目標と策定に向けての方向性

- ① デジタルの活用や環境整備
- ② 学び直しやキャリア教育の推進
- ③ 情報化・国際化等に対応し、社会を支える人材の育成
- ④ 子どもの心を育む体験活動の推進
- ⑤ 交流機会の創出
- ⑥ 子育て環境に応じた家庭教育支援
- ⑦ 多様な主体と連携した教育活動の活性化
- ⑧ 郷土愛の醸成
- ⑨ 社会教育施設の機能の充実

(1) 個人の主体的な学習活動

- ・ デジタル技術を活用した学習やつながりづくり
- ・ 多様な分野が連携・協力した学習
- ・ 市民ニーズに応じた学習への意欲向上

(2) 地域全体が連携・協力した教育活動

- ・ 子育て世代の悩み解決や仲間づくりを促す学習
- ・ 学校と連携した地域協議会の活動の充実
- ・ 地域ぐるみで子どもの心の成長を育む活動の充実

(3) 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

- ・ 学んだ成果を社会で生かし、指導者等として活躍できる仕組みの充実
- ・ 地域を支える人材育成に向けた郷土愛等を育む取組の充実

(4) 学習や活動に取り組める環境整備

- ・ 誰もが利用しやすい学習環境の整備
- ・ 市民の学習等の課題を解決に導く学習情報提供事業の機能の強化

3 生涯学習センター事業運営における重点項目について

「2 第3次宇都宮市地域教育推進計画について」であげた4点の方向性を、令和5年度は重点的に取り組んでいく。

(1) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

一人ひとりの主体的な学習活動を支援し、個人の成長や自己実現を促す講座等を開催する。

- ・「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座の開催
- ・パソコンやスマホ教室、防災に対応した講座、コロナ禍における開催方法を工夫した講座など、「社会的課題に対応した講座」の開催
- ・Z o o mやY o u t u b e等のデジタル技術を活用した講座等の開催や学習の推進

(2) 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

家庭の教育力向上を促す講座の開催や、家庭・学校・地域が連携する、つながるきっかけづくりなど、地域全体で子どもを育む教育活動の支援に取り組む。

- ・子育て世代の保護者の気づきや悩み解決、親子の交流や仲間づくり、ネットワークづくりを促す参加交流型講座の開催
- ・土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・魅力ある学校づくり地域協議会等の教育活動を支援する団体への支援や、学校・地域・企業等と連携して子どもの成長を支える教育活動を推進する子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

(3) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

地域や社会を支える人材の育成に向けて、地域理解を促す講座や学んだ人が様々な活動主体とつながる学習機会を提供する。

- ・「地域学講座」など地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- ・N P O・大学・企業等と連携し、専門的な知識や技術を獲得することができる学習機会や情報の提供

(4) 持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化

市民が学習や活動をしやすい環境整備とともに、学習相談、情報提供等の機能の充実を図るなど、地域拠点としての基盤の強化に取り組む。

- ・生涯学習団体や教育活動を行う団体等への施設貸出など、場の提供による活動の支援
- ・生涯学習情報提供システム(マナビス)の積極的な情報発信など、学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつける学習相談支援サービスの充実
- ・幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として、施設の環境整備や役割の周知

4 生涯学習センターの役割

- ・市民の最も身近な地域の学習と活動の拠点として、SDGs、市民協働、文化振興、男女共同参画、福祉、国際化など、地域教育に関わる本市の多様な分野の計画も踏まえた、**多様な学習機会の提供を通じた、意識醸成の推進**
(各分野の講座を開催するわけではなくとも、アイスブレイクで**各分野の**意識醸成を取り入れる、各分野の啓発チラシを配布する等も含む)
- ・地域特性や地域住民のニーズなどを踏まえつつ、個人の要望と社会の要請のバランスに配慮した講座の実施や、**学びを通して人々がつながり、学び合うことができる機会の提供**
- ・NPO・大学・企業等と積極的に連携し、学習の分野を広げるとともに、その専門的なスキルやノウハウを活かして個人の成長を促す講座の実施
- ・土日や平日夜など講座等の開催日時の検討や託児の充実、動画配信などのデジタル技術の活用など、実施方法の工夫による幅広い年代の参加を促進
- ・地域活動団体と協働・共催した講座や文化祭・地域のイベントの開催など、学んだ人が意欲的・主体的に地域とつながる事業の実施
- ・地域住民や多様な団体が交流・活動**しながらつながる**場として、施設の活用を促す事業の推進

【参考】社会教育法第20条（公民館の目的）

公民館は、市町村その他一定区域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

生涯学習センター運営審議会委員の皆様からの御意見

「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）」への御意見について

1 調査実施状況

(1) 意見の募集期間

令和4年10月18日（金）～10月24日（月）

(2) 意見の回答者数

16名（生涯学習センター運営審議会委員20名中）

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	0	11	1	1	3	16

2 意見の処理状況

区分	処理区分	数
A	「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」に盛り込むもの （【資料1】「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）」のうち、 <u>網掛け及び太字になっている部分</u> に修正を加えております。）	5
B	地域教育推進計画（後期計画策定）の中で施策事業の実施に取り組んでいくもの	1
C	地域教育推進計画の基本理念及び基本目標の実現のために取り組む個別事業を検討する際の参考意見とするもの	8
D	今後の生涯学習センター事業運営を進める上での参考意見とするもの	4
計		18

3 委員からの御意見と市の考え方

(1) 社会情勢の変化と基本的な考え方について

No.	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	基本的な考え方のため、全体としては良いと思うが、4行目「人間力」とは何を指しているのか。「2第3次宇都宮市地域教育推進計画について」の【第3次宇都宮市地域教育推進計画の中間見直し】の基本理念にある「社会の変化に対応できる」力のことか、明確にした方が良い。	A	「人間力」につきましては、「社会の変化に対応できる力」を指すことから、「 <u>社会の変化に対応できる人間力</u> 」と補足説明を加えております。
2	「スーパースマートシティ」の実現については、LRTの運行開始を含め、新たな交流機会の創出にもつながると思う。ぜひ、強化してほしい。	B	地域教育推進計画（後期計画策定）において、「スーパースマートシティ」を構成する地域共生社会や脱炭酸社会の実現に向けた施策事業の実施に取り組んでまいります。
3	より良い奉仕活動（ボランティア活動）の居場所づくりのほか、良い政治家・良い教師について話し合う居場所も必要だと思う。	C	地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。
4	ウィズ＝コロナ時代を楽しむためのイベントの要件やアイデアを模索・発信し、手本となっていてほしい。 (生涯学習センター間で情報共有し、各地域で活かしてほしい。)	C	地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。

(2) 生涯学習センター事業運営における重点項目について

No.	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	重点項目のうち、「(2)家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進」について、「家庭教育支援の充実」と「学校や地域と連携」はどちらも重要だといえるが、1項目ではなく、分けてどちらも十分に実施できるような目標としてはどうか。	A	重点項目(2)につきましては、家庭教育支援の充実と、学校・地域との連携の双方を一体的に取り組むことが重要と考えております。そのため、重点項目(2)の表題を、「 <u>地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進</u> 」としたほか、補足説明につきましても、「 <u>地域全体で子どもを育む教育活動の支援に取り組んでいく</u> 」と修正を加えております。
2	重点項目のうち、「(2)家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進」について、「教育支援活動をする団体等への支援(場の提供など)」を追加すべきと考える。	A	重点項目(2)の中で例示している事業の3点目につきまして、 <u>教育活動支援団体への支援が明確になるよう、加筆修正</u> しております。
3	子どもが参加できるような講座を増やしてほしい。 (例) ・家庭で手軽に取り組めるSDGs ・ゴミ削減への家庭での取り組み方等	C	地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。
4	地域の各活動主体に参加し、運営に協力できる人材を育成する講座を開催してほしい。	C	地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。
5	重点項目のうち、「(3)地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実」の中でも、「地域学講座」など地域に対する理解や愛着を育む講座の開催、特に「地域かがやきプロジェクト」の推進に力を注いでいただきたい。	C	地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。

(3) そのほか、気づいたことや要望、感想など について

No.	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	<p>「4 生涯学習センターの役割」の項目一つ目に、「意識醸成」とあるが、これはその前の例示に挙げているSDGsなどのことを指すのか。社会的に必要とされる内容が含まれているため、ぜひ取り組んでいただきたい。</p>	A	<p>SDGs, 市民協働, 男女共同参画等, <u>地域教育に関わる多様な分野における意識醸成</u>を指しております。多様な学習機会の提供を通して意識醸成を推進していくことが明確になるよう, 加筆修正しております。</p>
2	<p>「1 社会情勢の変化と基本的な考え方」の中で, 人々の「つながり」が重視されることが示されていたが, 「4 生涯学習センターの役割」では個人を重視している項目が多い。「つながり」に関しては, 下から2番目の項目(※)からのみ読み取れるため, 整合性という意味でも「つながり」へ向かうような生涯学習センターの役割を示してほしい。</p> <p>(※)「地域活動団体と協働・共催した講座や文化祭・地域のイベントの開催など, 学んだ人が意欲的・主体的に地域とつながる事業の実施」</p>	A	<p>生涯学習センターが担う「つながり」に関する役割が明確になるよう, 下記のように一部加筆修正しております。</p> <p>(生涯学習センターの役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>学びを通して人々がつながり, 学び合うことができる機会の提供</u>」 ・「<u>地域住民や多様な団体が交流・活動しながらつながる場として, 施設の活用を促す事業の推進</u>」
3	<p>各講座の参加者の満足度は高いようだが, 自主的に各講座に参加する人が増えているのか。地域によっても差があるとは思いますが, 参加する顔ぶれが広がらないような気がする。</p>	C	<p>地域教育推進計画を着実に推進するため, 土日や平日夜に集まりやすい場所での開催や, デジタル技術の活用など, 開催方法(手法や日時, 時間等)を工夫し, 様々な方が参加できるよう, 努めてまいります。</p>

No.	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
4	<p>成人式が何か物足りない。子どもたちが主人公であるべきだが、ただ通知が来たので、友達と会えるから参加しているような気がする。</p> <p>国歌の君が代、県民の歌は歌えるのに、宇都宮の市歌を歌えないのは誰のせいかな。何のせいかな。</p>	C	<p>地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。</p>
5	<p>「2 第3次宇都宮市地域教育推進計画について」の【第3次宇都宮市地域教育推進計画の中間見直し】における「取り組むべき課題」の中で、「④子どもの心を育む体験活動」を充実させてほしい。各生涯学習センターで子どもたちに教えることのできる人材を発掘していくことも必要かと考える。</p>	C	<p>地域教育推進計画の個別事業を検討する中で、参考意見とさせていただきます。子どもの教育活動を支える人材の育成の充実を図ってまいります。</p>
6	<p>コロナ禍で Zoom, YouTube がクラウドアップされたが、デジタル技術は目的のための手段（ツール）のひとつと考えたい。仲間づくりのためには、「会合」が必要だと思う。</p>	D	<p>今後の生涯学習センター事業運営を進める上での参考意見とさせていただきます。</p>
7	<p>地域活動団体においては、団体を運営する人材不足に悩んでいる。生涯学習センターは、地域活動団体と個人の地域活動意欲を結びつける役割を担って欲しい。（講座開催、地域活動団体の活用・PR）</p>	D	<p>今後の生涯学習センター事業運営を進める上での参考意見とさせていただきます。</p>
8	<p>デジタル技術の活用を積極的に行ってほしい。各生涯学習センターでデジタル技術の環境を整備することが、今後の講座の開催や家庭教育支援とつながるうえで重要だと思うため、推進してほしい。</p>	D	<p>今後の生涯学習センター事業運営を進める上での参考意見とさせていただきます。</p>
9	<p>安心・安全な利用促進を担保するために、「防犯カメラ」の設置あるいは設置状況を説明することも一考と思う。</p>	D	<p>今後の生涯学習センター事業運営を進める上での参考意見とさせていただきます。</p>